

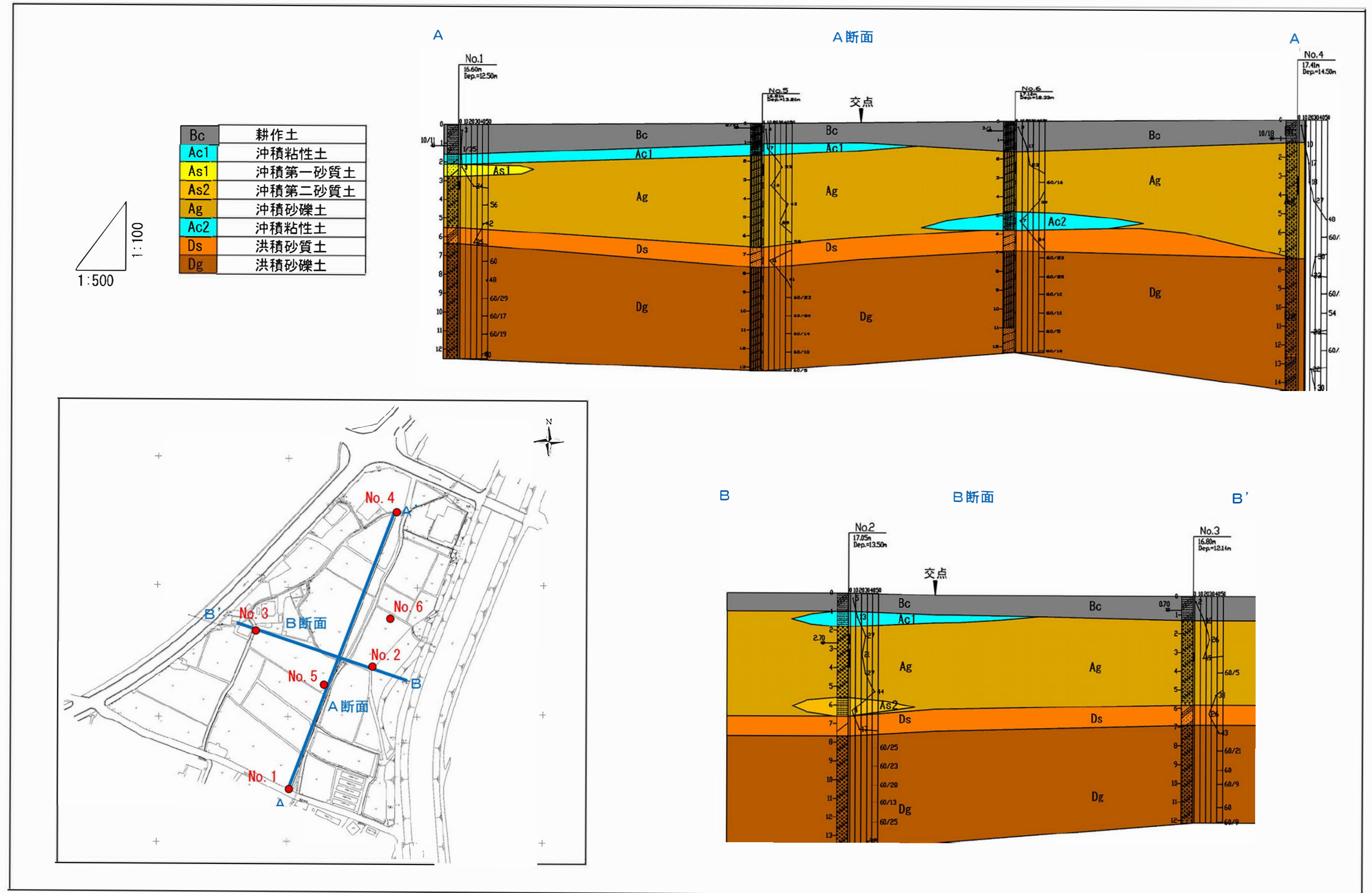


図 5.1.2 位置図および地質縦断面図【縦横比 1:5】

ボーリング柱状図

調査名「（仮称）道の駅姫路」造成基本設計業務委託

ボーリングNo

事業・工事名

シートNo

ボーリング名	No. 1				調査位置		姫路市飾東町豊国地内外					北緯	34° 50' 16.14781"			
発注機関	姫路市産業局道の駅整備室						調査期間		令和 4年 10月 11日 ~ 4年 10月 17日				東経	134° 44' 32.23711"		
調査業者名					主任技師				現代場代理人		コア鑑定者		ボーリング責任者			
孔口標高	16.60m	角 180° 上 90° 下 0°	方 北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	地盤勾配 鉛直 90° 水平 0°	使用機種	試錐機		DO			ハンマー落下用具		半自動落下式			
総掘進長	12.50m					エンジン		TF-120V-E			ポンプ		BG-4			

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記 事	孔内水位(m)／測定月日	標準貫入試験					原位置試験		試料採取			室内試験(掘進月日)			
											深 度 (m)	10cmごとの打撃回数			打撃回数／貫入量(cm)	N 値	深 度 (m)	試 験 名 および結果	深 度 (m)	試料番号		採取方法		
												0 〃	10 〃	20 〃										
1	15.00	1.60	1.60		砂質粘土	暗灰～淡褐灰			軟らかい～非常に軟らかい	中～低塑性。 全体に微細砂混入。 上部、径5mm以下の小礫混入。	10/11 1.15	0.15	1	1	1	30				0.15	1P-0	○	土密 含水 粒度 液性 塑性	
2	14.45	0.55	2.15		砂混りシルト	暗灰			低塑性。腐植物多量に混入。			0.45							0.45	1P-1	○			
3	13.80	0.65	2.80		礫混りシルト混り砂	灰	非常に緩い		細砂主体。小礫点在。含水比高位。			1.15	1	0	25	1	35		1.15	1P-2	○			
4					粘土混り砂礫	淡緑灰	中位～非常に密な		砂は中～粗砂主体。 礫は径5～30mmの亜角礫主体。 最大礫径＝40mm程度。 全体に細粒分混入。 含水比高位。			1.50	1	1	15	1	5	3	30		1.50	1P-3		○
5	11.10	2.70	5.50		礫混り粘土質砂	淡緑灰			細～中砂主体。 径10～20mmの亜角礫点在。			2.15	7	6	11	24	30		2.15	1P-4	○			
6	10.25	0.85	6.35									2.45							2.45	1P-5	○			
7												3.15	7	6	11	24	30		3.15	1P-6	○			
8												3.45							3.45	1P-7	○			
9												4.15	25	15	16	56	30		4.15	1P-8	○			
10												4.45							4.45	1P-9	○			
11												5.15	11	9	22	42	30		5.15	1P-10	○			
12	4.10	6.15	12.50									5.45							5.45	1P-11	○			
												6.15	7	7	11	25	30		6.15	1P-12	○			
												6.45							6.45					
												7.15	18	21	21	60	29		7.15					
												7.44							7.44					
												8.15	17	13	18	48	30		8.15					
												8.45							8.45					
												9.15	17	20	23	60	29		9.15					
												9.44							9.44					
												10.15	29	31		60	17		10.15					
												10.32							10.32					
												11.10	23	37		60	19		11.10					
												11.29							11.29					
												12.15	17	11	12	40	30		12.15					
												12.45							12.45					

ボーリング柱状図

調査名「（仮称）道の駅姫路」造成基本設計業務委託

ボーリングNo

事業・工事名

シートNo

ボーリング名	No. 2			調査位置		姫路市飾東町豊国地内外					北緯	34° 50' 19.17429"				
発注機関	姫路市産業局道の駅整備室					調査期間		令和 4年 10月 11日 ~ 4年 10月 17日					東経	134° 44' 34.69091"		
調査業者名				主任技師				現場代理人		コア鑑定者		ボーリング責任者				
孔口標高	17.05m	角 度	180° 上 90° 下 0°	方 向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	地盤勾配	鉛直 90° 水平 0°	使用機種	試錐機		YBM-05	ハンマー落下用具	半自動落下式			
総掘進長	13.50m								エンジン		NFD-10	ポンプ	GP-5			

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記 事	孔内水位(m)／測定月日	標準貫入試験					原位置試験		試験採取		室内試験()	掘進月日		
											深 度 (m)	10cmごとの 打撃回数			打撃回数／貫入量 (cm)	N 値	深 度 (m)	試験名 および結果	深 度 (m)			試験番号	採取方法
												0	10	20									
										10/13 2.70	0.15	1	2	2	30			0.15	2P-0	⊖	土密 含水 粒度 液性 塑性		
1	16.05	1.00	1.00		シルト質粘土	褐灰		中位	中〜高塑性。 最上部植根混入。		0.45							0.45					
	15.25	0.80	1.80		礫混り砂質粘土	黄褐灰〜暗褐灰		硬い	若干の微細砂混入。 下部は均質な粘土でやや有機質。 最下部は砂分礫分を混入。		1.15	3	5	5	13	30		1.15	2P-1	⊖			
2											1.45							1.45					
											2.15	7	7	13	27	30		2.15	2P-2	⊖			
3					粘土混り砂礫	淡緑灰〜暗緑灰		中位〜密な	砂は細〜粗砂主体。 礫は径5〜30mmの亜角礫主体。 最大礫径=70mm程度。 風化礫混入。 全体に細粒分混入。 含水比中〜高位。		2.45							2.45					
											3.15	6	7	8	21	30		3.15	2P-3	⊖	土密 含水 粒度	10/12	
4											3.45							3.45					
											4.15	8	10	9	27	30		4.15	2P-4	⊖			
5											4.45							4.45					
	11.45	3.80	5.60								5.15	14	15	15	44	30		5.15	2P-5	⊖			
6					礫混り粘土質砂	緑灰		非常に緩い	微細砂主体。 全体に多量の細粒分混入。		5.45							5.45					
	10.45	1.00	6.60								6.15	1	2	1	4	30		6.15	2P-6	⊖	土密 含水 粒度 液性 塑性		
7					シルト混り砂	灰		中位	細砂主体。全体にシルト分混入。含水比高位。		6.45							6.45					
	9.40	1.05	7.65								7.15	4	6	7	17	30		7.15	2P-7	⊖			
8											7.45							7.45					
											8.15	27	23	10	60	25		8.15	2P-8	⊖			
9											8.40							8.40					
											9.15	22	28	10	60	23		9.15	2P-9	⊖			
10											9.38							9.38					
											10.15	20	17	23	60	28		10.15	2P-10	⊖			
11											10.43							10.43					
											11.15	23	37		60	13		11.15	2P-11	⊖			
12											11.28							11.28					
											12.15	25	20	15	60	25		12.15	2P-12	⊖			
13											12.40							12.40					
	3.55	5.85	13.50								13.15	11	9	12	32	30		13.15	2P-13	⊖		10/14	
											13.45							13.45					

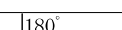
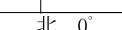
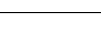
ボーリング柱状図

調査名「（仮称）道の駅姫路」造成基本設計業務委託

ボーリングNo

事業・工事名

シートNo

ボーリング名	No. 3				調査位置		姫路市飾東町豊国地内外					北緯	34° 50' 19.99998"				
発注機関	姫路市産業局道の駅整備室						調査期間		令和 4年 10月 17日 ~ 4年 10月 19日				東経	134° 44' 31.20515"			
調査業者名					主任技師				現場代理人		コア鑑定者		ボーリング責任者				
孔口標高	16.80m	角 度		方 向		地盤勾配		使用機種	試錐機			DO		ハンマー落下用具		半自動落下式	
総掘進長	12.14m								エンジン			TF-120V-E			ポンプ		BG-4

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記 事	孔内水位(m)／測定月日	標準貫入試験					原位置試験		試料採取			室内試験（ 土密性・液性・塑性）	掘進 月日	
											深 度 (m)	10cmごとの 打撃回数			打撃回数／貫入量 (cm)	N 値	深 度 (m)	試験名 および結果	深 度 (m)	試料 番号			採取 方法
												0 〃 10	10 〃 20	20 〃 30									
1	15.50	1.30	1.30		礫混り砂質粘土	淡褐～褐灰		非常に軟らかい	中～低塑性。 比較的均質。 小礫点在。	10/17 0.70	0.15 〃 15	1 〃 15	〃 〃 30					3P-0	⊖	土密 含水 粒度	10/17		
2					シルト混り砂礫	黄褐灰～緑灰～暗緑灰	中位～非常に密な		砂は細～中砂主体。 礫は径5～15mmの亜角礫主体。 最大礫径=30mm程度。 風化礫混入。 最上部は黄褐色に酸化する。 全体に細粒分混入。 含水比高位。	0.45 〃 1.15	2 〃 6	6 〃 8	〃 〃 16 〃 30					3P-1	⊖				
3					シルト混り砂礫	黄褐灰～緑灰～暗緑灰	中位～非常に密な		砂は細～中砂主体。 礫は径5～15mmの亜角礫主体。 最大礫径=30mm程度。 風化礫混入。 最上部は黄褐色に酸化する。 全体に細粒分混入。 含水比高位。	1.45 〃 2.15	9 〃 10	10 〃 7	〃 〃 26 〃 30	3.00		現場透水試験 k=4.08E-6m/s		3P-2	⊖				
4					シルト混り砂礫	黄褐灰～緑灰～暗緑灰	中位～非常に密な		砂は細～中砂主体。 礫は径5～15mmの亜角礫主体。 最大礫径=30mm程度。 風化礫混入。 最上部は黄褐色に酸化する。 全体に細粒分混入。 含水比高位。	2.45 〃 3.15	3 〃 5	5 〃 7	〃 〃 15 〃 30	3.50				3P-3	⊖				
5					シルト混り砂礫	黄褐灰～緑灰～暗緑灰	中位～非常に密な		砂は細～中砂主体。 礫は径5～15mmの亜角礫主体。 最大礫径=30mm程度。 風化礫混入。 最上部は黄褐色に酸化する。 全体に細粒分混入。 含水比高位。	3.45 〃 4.05	60 〃 5		60 〃 5					3P-4	⊖				
6	11.00	4.50	5.80		シルト混り砂礫	黄褐灰～緑灰～暗緑灰	中位～非常に密な		砂は細～中砂主体。 礫は径5～15mmの亜角礫主体。 最大礫径=30mm程度。 風化礫混入。 最上部は黄褐色に酸化する。 全体に細粒分混入。 含水比高位。	4.10 〃 5.15		16 〃 15	7 〃 38 〃 30					3P-5	⊖				
7	9.90	1.10	6.90		シルト混り砂礫	黄褐灰～緑灰～暗緑灰	中位～非常に密な		砂は細～中砂主体。 礫は径5～15mmの亜角礫主体。 最大礫径=30mm程度。 風化礫混入。 最上部は黄褐色に酸化する。 全体に細粒分混入。 含水比高位。	5.45 〃 6.15	9 〃 9	9 〃 8	〃 〃 26 〃 30					3P-6	⊖				
8					シルト混り砂礫	黄褐灰～緑灰～暗緑灰	中位～非常に密な		砂は細～中砂主体。 礫は径5～15mmの亜角礫主体。 最大礫径=30mm程度。 風化礫混入。 最上部は黄褐色に酸化する。 全体に細粒分混入。 含水比高位。	6.45 〃 7.15	15 〃 15	13 〃 13	〃 〃 43 〃 30					3P-7	⊖				
9					シルト混り砂礫	黄褐灰～緑灰～暗緑灰	中位～非常に密な		砂は細～中砂主体。 礫は径5～15mmの亜角礫主体。 最大礫径=30mm程度。 風化礫混入。 最上部は黄褐色に酸化する。 全体に細粒分混入。 含水比高位。	7.45 〃 8.15	22 〃 35	3 〃 1	60 〃 21					3P-8	⊖				
10					シルト混り砂礫	黄褐灰～緑灰～暗緑灰	中位～非常に密な		砂は細～中砂主体。 礫は径5～15mmの亜角礫主体。 最大礫径=30mm程度。 風化礫混入。 最上部は黄褐色に酸化する。 全体に細粒分混入。 含水比高位。	8.36 〃 9.15	18 〃 21	21 〃 21	60 〃 30					3P-9	⊖				
11					シルト混り砂礫	黄褐灰～緑灰～暗緑灰	中位～非常に密な		砂は細～中砂主体。 礫は径5～15mmの亜角礫主体。 最大礫径=30mm程度。 風化礫混入。 最上部は黄褐色に酸化する。 全体に細粒分混入。 含水比高位。	9.45 〃 10.00	60 〃 9		60 〃 9					3P-10	⊖				
12	4.66	5.24	12.14		シルト混り砂礫	黄褐灰～緑灰～暗緑灰	中位～非常に密な		砂は細～中砂主体。 礫は径5～15mmの亜角礫主体。 最大礫径=30mm程度。 風化礫混入。 最上部は黄褐色に酸化する。 全体に細粒分混入。 含水比高位。	10.09 〃 11.15	18 〃 18	24 〃 24	60 〃 30					3P-11	⊖				
					シルト混り砂礫	黄褐灰～緑灰～暗緑灰	中位～非常に密な		砂は細～中砂主体。 礫は径5～15mmの亜角礫主体。 最大礫径=30mm程度。 風化礫混入。 最上部は黄褐色に酸化する。 全体に細粒分混入。 含水比高位。	11.45 〃 12.05	60 〃 9		60 〃 9					3P-12	⊖	10/18			

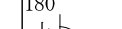
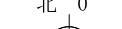
ボーリング柱状図

調査名「（仮称）道の駅姫路」造成基本設計業務委託

ボーリングNo

事業・工事名

シートNo

ボーリング名	No. 4				調査位置		姫路市飾東町豊国地内外					北緯	34° 50' 22.8911"		
発注機関	姫路市産業局道の駅整備室						調査期間		令和 4年 10月 17日 ~ 4年 10月 21日				東経	134° 44' 35.52243"	
調査業者名					主任技師		現場代理人		コア鑑定者		ボーリング責任者				
孔口標高	17.41m	角 度		方 向		地盤勾配		使用機種	試錐機		YBM-05		ハンマー落下用具	半自動落下式	
総掘進長	14.50m								エンジン		NFD-10		ポンプ	GP-5	

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記 事	孔内水位(m)／測定月日	標準貫入試験					原位置試験		試料採取			室内試験（ ）	掘進月日	
											深 度 (m)	10cmごとの 打撃回数			打撃回数／貫入量 (cm)	N 値	深 度 (m)	試験名 および結果	深 度 (m)	試料番号			採取方法
												0 〃 (m)	10 〃 (m)	20 〃 (m)									
1	16.21	1.20	1.20		礫混り砂質粘土	褐灰		軟らかい	低塑性。 微細砂及び小礫混入。 全体に有機質。	10/18 1.00	0.15	1	2	1	3	3.00		0.15	4P-0	⊖	土密 含水 液性 塑性		
2											0.45							0.45	4P-1	⊖			
3											1.15	3	4	3	10	3.00		1.15	4P-1	⊖			
4											1.45							1.45	4P-2	⊖			
5											2.15	5	5	7	17	4.00		2.15	4P-2	⊖			
6											2.45							2.45	4P-3	⊖	土密 含水 粒度		
7	10.01	6.20	7.40		粘土混り砂礫	褐 緑灰 暗灰	中位 密な 非常に密な		砂は中～粗砂主体。 礫は径5～30mmの亜角礫主体。 最大礫径＝90mm程度。 風化礫混入。 全体に細粒分混入。 最下部、礫混り砂挟在。 含水比高位。		3.15	8	4	6	18		現場透水試験 k=2.40E-6m/s	3.15	4P-3	⊖			
8											3.45							3.45	4P-4	⊖			
9											4.15	10	8	9	27			4.15	4P-4	⊖			
10											4.45							4.45	4P-5	⊖			
11											5.15	20	13	15	48			5.15	4P-5	⊖			
12											5.45							5.45	4P-6	⊖			
13	4.76	5.25	12.65								6.15	25	28	7	60			6.15	4P-6	⊖			
14	2.91	1.85	14.50								6.37							6.37	4P-7	⊖			
											7.15	6	7	17	30			7.15	4P-7	⊖			
											7.45							7.45	4P-8	⊖			
											8.15	6	7	10	23			8.15	4P-8	⊖			
											8.45							8.45	4P-9	⊖			
											9.15	21	27	12	60			9.15	4P-9	⊖			
											9.39							9.39	4P-10	⊖			
											10.15	16	19	19	54			10.15	4P-10	⊖			
											10.45							10.45	4P-11	⊖			
											11.15	5	5	13	23			11.15	4P-11	⊖			
											11.45							11.45	4P-12	⊖			
											12.15	30	15	15	60			12.15	4P-12	⊖			
											12.43							12.43	4P-13	⊖			
											13.15	7	7	8	22			13.15	4P-13	⊖			
											13.45							13.45	4P-14	⊖			
											14.15	5	10	15	30			14.15	4P-14	⊖			
											14.45							14.45					

ボーリング柱状図

調 査 名 「（仮称）道の駅姫路」造成基本設計業務委託

ボーリングNo									
---------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

事業・工事名

シートNo

ボーリング名	No. 5			調査位置		姫路市飾東町豊国地内外					北緯	34° 50' 18.63417"		
発注機関	姫路市産業局道の駅整備室					調査期間		令和 5年 2月 21日 ~ 5年 2月 28日				東経	134° 44' 33.27341"	
調査業者名				主任技師				現場代理人		コア鑑定者		ボーリング責任者		
孔口標高	16.81m	角 180° 上 90° 下 0° 度	方 北 0° 270° 西 90° 東 180° 南 向	地盤勾配 鉛直 0° 水平 0° 90°	使用機種	試錐機		KR-50		ハンマー落下用具		半自動落下式		
総掘進長	13.20m					エンジン		NFD-10		ポンプ		V5-P		

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深 度 (m)	柱 状 図	土 質 区 分	色 相 調 度	相 対 密 度	相 対 稠 度	記 事	孔内水位(m)／測定月 2024/02/21	標準貫入試験					原 位 置 試 験		試料採取		室内試験()	掘 進 月 日		
											深 度 (m)	10cmごとの 打 撃 回 数			打 撃 回 数 ／ 貫 入 量 (cm)	N 値 	深 度 (m)	試 験 名 および結果 	深 度 (m)			試 料 番 号	採 取 方 法
												0 〃	10 〃	20 〃									
1	15.81	1.00	1.00		シルト質粘土 礫混りシルト質粘土	茶褐灰 黄褐灰	軟らかい 中 位	均質高塑性 中塑性。小礫・砂分不規則に混入。		0.15 0.45 1.15 1.45 2.15 2.45 3.15 3.45 4.15 4.45 5.15 5.45 6.15 6.45 7.15 7.45 8.15 8.45 9.15 9.38 10.15 10.35 11.15 11.29 12.15 12.25 13.15 13.20	1 2 2 11 11 3 10 12 12 16 2 12 18 18 24 36 36 60												

ボーリング柱状図

調査名「（仮称）道の駅姫路」造成基本設計業務委託

ボーリングNo

事業・工事名

シートNo

ボーリング名	No. 6		調査位置	姫路市飾東町豊国地内外				北緯	34° 50′ 20.32993″	
発注機関	姫路市産業局道の駅整備室				調査期間	令和 5年 2月 28日 ~ 5年 3月 6日			東経	134° 44′ 35.28774″
調査業者名				主任技師				現場代理人	コア鑑定者	ボーリング責任者
孔口標高	17.12m	角 度 180° 上 90° 下 0°	方 向 北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	地盤勾配 鉛直 90° 水平 0°	使用機種	試験機	KR-50		ハンマー落下用具	半自動落下式
総掘進長	12.33m					エンジン	NFD-10		ポンプ	V5-P

標尺	標高	層厚	深度	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記 事	孔内水位(m)／測定月日	標準貫入試験						原位試験		試料採取			室内試験(月日)	掘進(月日)
											深 度	10cmごとの打撃回数			打撃回数／貫入量(cm)	N 値	深 度	試 験 名 および結果	深 度	試料番号	採取方法		
												0	10	20									
(m)	(m)	(m)	(m)								(m)	10	20	30	(cm)	(m)		(m)					
1	15.52	1.60	1.60		砂質粘土	茶褐		軟らかい～非常に硬い	低塑性。 部分的に微細砂を多量に混入。 腐植物混入。	3/1 0.49	0.15	1	1	1	30				0.15	6P-0	○		
2					粘土混り砂礫	淡灰～淡緑灰		中位～非常に密な	砂は中～粗砂主体。 礫は径5～30mmの亜角礫主体。 最大礫径=70mm程度。 全体に細粒分混入。 含水比中～高位。		0.45	5	5	7	17/30		2.20		0.45	6P-1	○		
3					砂混り粘土	淡緑灰		中 位	中～高塑性。 細砂混入。		1.15						2.80		1.15	6P-2	○		
4	12.32	3.20	4.80		礫混りシルト混り砂	灰		密 な	比較的均一な細砂主体。全体に細粒分混入。 径5mm以下の小礫点在。 含水比高位。		1.45	6	8	9	23/30				1.45	6P-3	○		
5	11.32	1.00	5.80		シルト混り砂礫	暗灰～緑灰～暗灰		非常に密な	砂は中～粗砂主体。 礫は径5～30mmの亜角礫主体。 最大礫径=70mm程度。 11.00m以深は、細～中砂主体となり、 径20mm以下の亜角礫多く混入。 全体に細粒分混入。 含水比中～高位。		2.15	27	33	6	60/16				2.15	6P-4	○		
6											2.45								2.45	6P-5	○		
7	10.22	1.10	6.90								2.80	9	13	17	39/30				2.80	6P-6	○		
8											3.31								3.31	6P-7	○		
9											4.15								4.15	6P-8	○		
10	4.79	5.43	12.33								4.45	2	2	3	7/30				4.45	6P-9	○		
11											5.15								5.15	6P-10	○		
12											5.45	8	12	14	34/30				5.45	6P-11	○		
											6.15								6.15	6P-12	○		
											6.45	21	24	15/3	60/23				6.45				
											7.15	14	25	21/5	60/25				7.15				
											7.38	60			60/10				7.38				
											8.15								8.15				
											8.40								8.40				
											9.15								9.15				
											9.25								9.25				
											10.15								10.15				
											10.25								10.25				
											11.15								11.15				
											11.20								11.20				
											12.15	21	39	8	60/18				12.15				
											12.33								12.33				

4.5 室内土質試験結果

室内土質試験は、Bor. No. 1～Bor. No. 4 の盛土 (Bc) と沖積砂礫層 (Ag) および、Bor. No. 2 の沖積第二砂質土層 (As2) で実施した。

試験結果を表 4.5.1 に示す。

なお液性・塑性限界の結果で NP (non-plastic) は、シルトや細砂を多く含む低塑性の土を示す。

表 4.5.1 室内土質試験結果

Bor地点番号		No. 1		No. 2			No. 3		No. 4	
地層名		盛土	沖積砂礫層	盛土	沖積砂礫層	沖積第二砂質土層	盛土	沖積砂礫層	盛土	沖積砂礫層
主な土質・岩質		粘土	砂礫	粘土	砂礫	シルト質砂	粘土	砂礫	粘土	砂礫
記号		Bc	Ag	Bc	Ag	As2	Bc	Ag	Bc	Ag
試料番号		1P-1	1P-3	2P-0	2P-3	2P-6	3P-0	3P-3	4P-0	4P-3
深さ		1.15～ 1.50m	3.15～ 3.45m	0.15～ 0.45m	3.15～ 3.45m	6.15～ 6.45m	0.15～ 0.45m	3.15～ 3.45m	0.15～ 0.45m	3.15～ 3.45m
一般	土粒子の密度 ρ_s (g/cm ³)	2.642	2.657	2.618	2.644	2.663	2.607	2.678	2.599	2.654
	自然含水比 W_n (%)	25.4	10.8	23.2	15.1	28.1	26.3	14.8	25.4	16.3
粒度	礫分 (2～75mm) (%)	0.0	39.7	4.5	40.0	5.4	6.0	44.3	6.4	31.3
	砂分 (0.075～2mm) (%)	45.3	46.4	31.9	33.7	60.9	39.2	38.2	38.6	51.3
	細粒分含有率 F_c (%)	54.7	13.9	63.6	26.3	33.7	54.8	17.5	55.0	17.4
	シルト分 (<0.075mm) (%)	27.9	8.1	32.6	11.6	18.1	28.2	9.2	29.4	9.9
	粘土分 (<0.005mm) (%)	26.8	5.8	31.0	14.7	15.6	26.6	8.3	25.6	7.5
	最大粒径 (mm)	2	26.5	9.5	37.5	19.0	9.5	37.5	9.5	26.5
	均等係数	—	95.2	—	1250	100	—	309	—	137
	50%粒径 D_{50} (mm)	0.051	1.3	0.020	0.95	0.14	0.039	1.5	0.042	0.85
	20%粒径 D_{20} (mm)	0.0019	0.19	—	0.016	0.0090	0.0024	0.11	0.0023	0.11
	10%粒径 D_{10} (mm)	—	0.021	—	0.0016	0.0016	—	0.0081	—	0.0095
液塑性	液性限界 W_L (%)	30.3	—	36.3	—	31.0	40.5	—	38.9	—
	塑性限界 W_p (%)	17.1	—	21.8	—	17.9	20.8	—	21.9	—
	塑性指数 I_p	13.2	—	14.5	—	13.1	19.7	—	17.0	—
	コンシステンシー指数 I_c	0.4	—	0.9	—	0.2	0.7	—	0.8	—
分類	地盤材料の分類名	砂質粘土 (低液性)	粘性土混り 礫質砂	砂質粘土 (低液性)	粘性土質 砂質礫	礫混り 粘性土質砂	礫混り 砂質粘土 (低液性)	粘性土質 砂質礫	礫混り 砂質粘土 (低液性)	粘性土質 礫質砂
	分類記号	(CLS)	(SG-Cs)	(CLS)	(GCsS)	(SCs-G)	(CLS-G)	(GCsS)	(CLS-G)	(SCsG)